

平成24年1月31日  
(2012年)

保護者の皆様

吹田市立高野台小学校  
校長 中村 和則

## 平成23年度 学校教育アンケート結果について

厳寒の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申しあげます。平素は本校教育にご理解・ご協力いただき、感謝申しあげます。

さて、昨年12月に、ご協力いただいた「学校教育アンケート」の結果分析を行い、報告する運びとなりました。裏面には、アンケート結果を掲載しております。以下、ご報告いたします。

### ～分析に基づく改善方策～

#### <教育内容・学習状況>

○教育目標・努力目標の目標内容は適切であるとの評価でした。

今後も、子どもたちの現状と課題をきちんと見据え短期的・長期的に検証していく必要を改めて感じるところです。

○「読解表現力育成」や「読書活動」「学力向上」の取り組みには意義があると95%以上の評価をいただきましたが、「成果が出ている」では30%～20%の否定的な評価がありました。

学習へ向かう気持ちの向上や学習成果は一朝一夕には表れるものではありません。しかし、取り組んでいく意義の重要性を踏まえつつ、その方向性や内容が有効であったかという結果分析を丁寧に行い、逐次改善を図っていくことが重要であり、確かな成果に向け努めて参ります。

○児童アンケートから、「学校へ行くのが楽しい」と「授業は分かりやすい」との回答は、ほぼ同等の傾向にあり、「学校」＝「授業」の結びつきを児童は感じていることが解明しました。一方「運動会や遠足などの学校行事は楽しい」は児童の95%以上が評価をしていることを考え合わせると、平素の授業の分かりやすさが「学校の楽しさ」の重要な要素であることがうかがえます。

保護者アンケートで、「授業が楽しく分かりやすいと言っている」は82%の評価をいただきました。しかし、「強く思う」は24%であるのに対し、「学校へ行くのが楽しい」を「強く思う」との評価は4.6%でした。

「学校」の重要な要素である「授業」を子どもたちが分かりやすく楽しいと保護者の皆様に実感していただける授業改善が肝要だと再認識いたしました。

また「授業のわかりやすさ」と「先生の話をよく聞くようにしている」や「よく考え発表しようとしている」児童の回答には優位な相関性があり、授業改善の方向性は「聞きたくなる・考える必然性のある・発表を受け入れる人間関係などの環境を整えた」授業を目指すべく、すべての児童に分かりやすい授業が行えるよう教師の指導力を向上していきます。



#### <教師との関わり>

○「先生は子どもを理解し、適切・公平な評価をしている」と95%の評価をいただきました。一方、児童アンケートでは、高学年になるほど、教師との距離を感じる児童が多く、要因の一つには発達年齢によるものであると考えられます。

その点を踏まえ、学級担任だけでなく、学年や専科教員・養護教諭・相談員等多くの教職員が個々のがんばりを認めたり、相談しやすい環境をつくり、学校体制を整えていきます。

## < 学校と家庭の連携 >

○「**学習内容や進度は学級・学年通信で知ることができる**」という90%以上の評価をいただきました。一方、「**あゆみ**」の学習理解や学校生活のわかりやすさへの工夫は、否定的な評価が20%以上ありました。

「あゆみ」は、年間3回の通信であり、学習の様子の特徴として重要なものであると考えております。「あゆみ」の内容は毎年検討を重ね、充実のため改正していますが、より個々の詳細な学習・学校生活状況をお伝えできるよう、引き続き見直しを図っていきます。また、「あゆみ」で伝えきれない部分は、学級・学年通信の内容の充実を図り、懇談等の機会も活用して有効にお伝えするようにいたします。また、各ご家庭におかれましても返却されたテスト・宿題の進捗状況・学習ノートの点検など、お子様の様子を知る機会としていただきますようお願いいたします。



## < 施設設備 >

○「**施設設備**」に対する評価は、30%以上が好ましい学習環境ではないというものであり、老朽化への対策や夏場のエアコン設置は、学校側としても課題であると感じております。

エアコン設置は耐震工事が終わったところから、順次行っていく予定であると教育委員会より聞いております。尚、本校の耐震工事は25年度・26年度に計画されています。老朽化に伴う営繕補修は逐次依頼をし、行っておりますが、引き続き改善要求をして参ります。

## < 家庭・PTA >

○「**早寝・早起き・朝ご飯**」は保護者の評価に比べて、高学年児童の評価は低く、30%以上の児童が否定的でした。高学年での規則的な家庭生活の見直しが必要です。テレビやゲームの時間を決めていない25%のご家庭があることが大きな要因であると考えます。「平成23年度学力学習調査分析でもお伝えしたように、ご家庭での努力

をお願いすることに加え、「朝ご飯」を作る・食べるなど自己健康管理がでるような子どもの育成を学校家庭が連携して行っていく必要があると考えます。

○「**PTA行事や見守りパトロール**」など、70%近くのご家庭が協力的であるとの回答でした。さらに多くのご協力をお願いいたします。



## ～ 自由記述より～

- **あいさつ**ができる子どもが増えた。
- **学校だよりやブログ**で学校の考えや思いがよく伝わっている。と評価していただきました。以下、いただいたご意見から改善すべき事項を挙げていきます。
- **大阪府学力学習状況調査結果**については、いくつかご意見をいただきました。今後さらに**反復学習**や**習熟度別学習**・**放課後学習**の充実を行い、学力向上を目指していきます。
- **保護者との連携**について、意見交換の機会を増やしたり、丁寧な連絡をとるよう努めます。
- **「太陽の広場」の拡充・運動場開放・図書室開放**などのご要望がありました。実施するには、子どもの安全確保や安心して過ごせる環境を整えることが必要です。今後、保護者の皆様のご意見を聞きながら、検討していきます。
- **運動会**や**音楽会**等の学校行事へのご意見もいただきました。来年度は、行事ごとにアンケートを実施していき、改善を図っていかうと考えています。

子ども達一人ひとりが「学校へ行くのが楽しい」「授業がわかる」と言える学校作りを行うことが学校教育の責務であると考えております。また、以前にも増して、学校と家庭との連携協力の重要性も実感することができました。本アンケートでいただいた評価を真摯に受け止め、これからの学校改善に生かしていく所存です。今後ともご家庭のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。